



2012年 自然電力株式会社 参画

熊本で初めての発電事業をスタート
地域 x 再エネの可能性を感じ、
国内の事業開発、発電事業を推進
事業開発・発電事業・O&M代表、等歴任

2022年 西鉄自然電力（同）設立

共同代表就任
再エネ活用が地域産業に与える可能性を
信じ、西日本鉄道社とJV設立、
九州の脱炭素化を目指す

2025年 くまもと地域みらい エネルギー株式会社 設立

代表取締役就任

自然電力は、青い地球を未来につなぐため、挑戦し続けます。

2011年3月11日の東日本大震災の3ヶ月後、
青い海や緑の山々を身近に育った3人の創業メンバーが
自然電力を立ち上げました。
それ以来、「自分たちの未来は自分たちでつくる」、
という強い信念のもと歩んできました。

エネルギーは、私たちの生活、文化、産業、
そして地球環境の未来まで影響を及ぼすものです。
だからこそ私たちは、エネルギーを軸として、
地球を未来につなぎます。

未来の地球で人々が幸せに暮らし続けることが
できるように、想いを共有する仲間たちと
再生可能エネルギーへの転換に取り組み、
「再生可能エネルギー100%」で、自律して、持続性のある
コミュニティ、社会を創り上げていきます。



国内グループ実績



開発実績

973.5 MW



完工実績

815.9 MW



保守運用 (O&M) 実績

924.9 MW



アセットマネジメント実績

302.6 MW



太陽光
958.4 MW



風力
13.0 MW



小水力
0.2 MW



バイオマス
2.0 MW



発電所数
96 か所

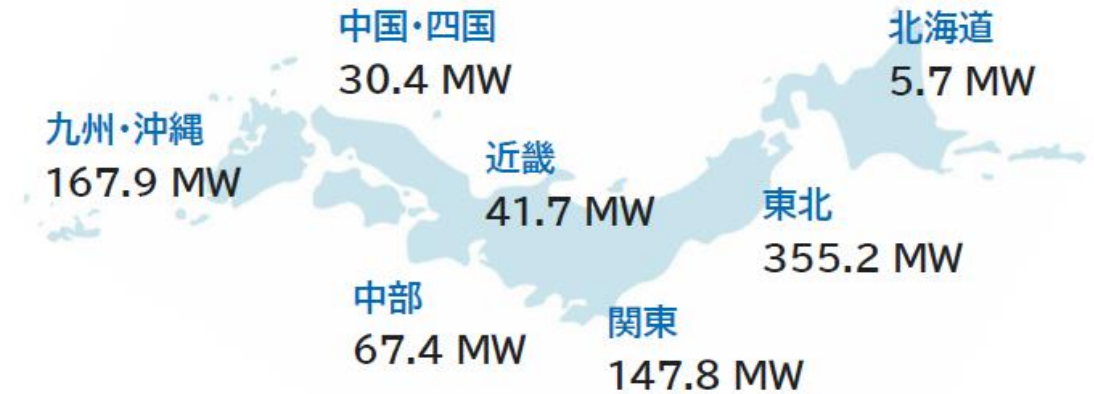


運用資産規模
973.5 億円



IPP事業規模
(出資持分考慮後)
87.9MW

地域別グループ完工MW数



01

発電所をつくる



再生可能エネルギー発電所のEPC（設計・調達・建設）

02

発電所を動かす



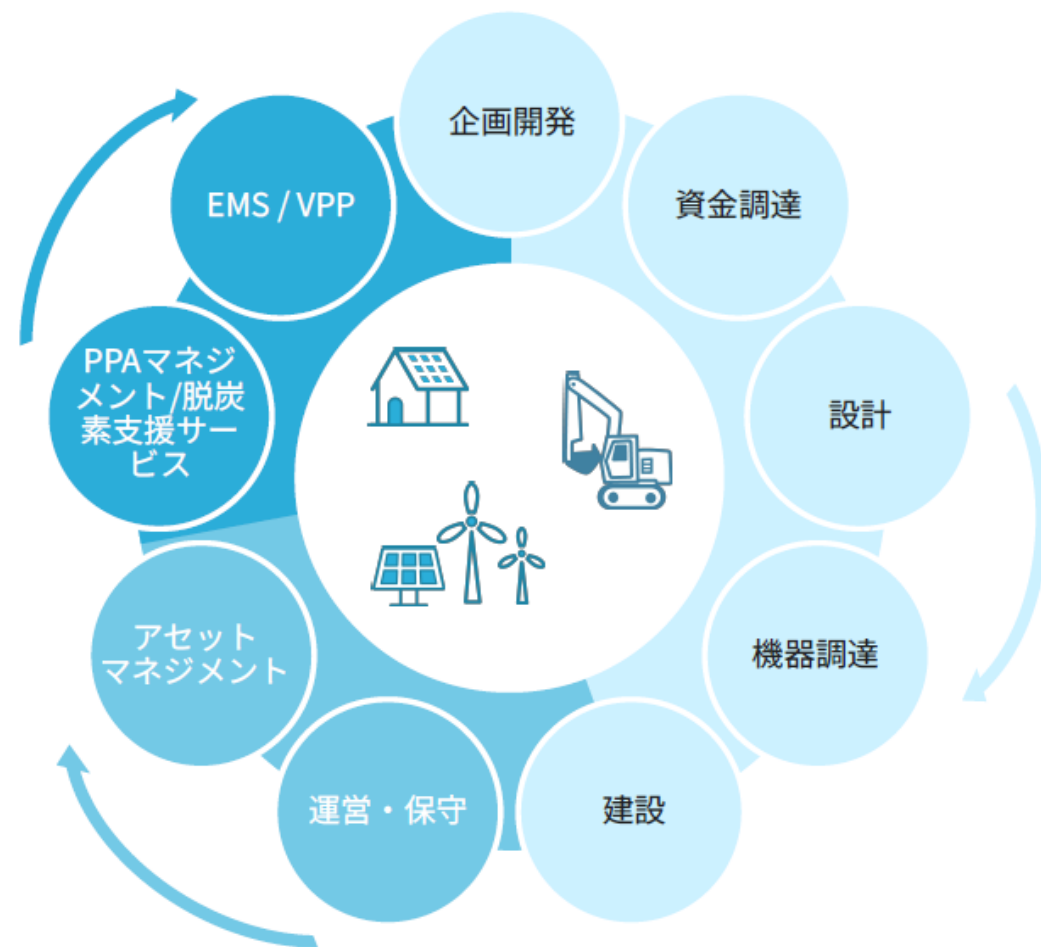
再生可能エネルギー発電所のO&M（運営・保守）、
アセットマネジメント

03

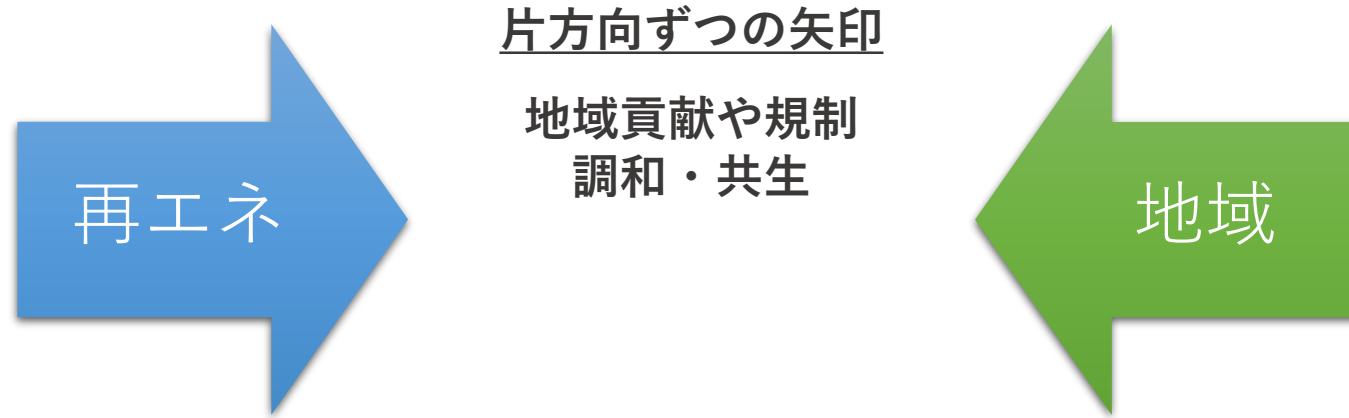
再生可能エネルギーを広める



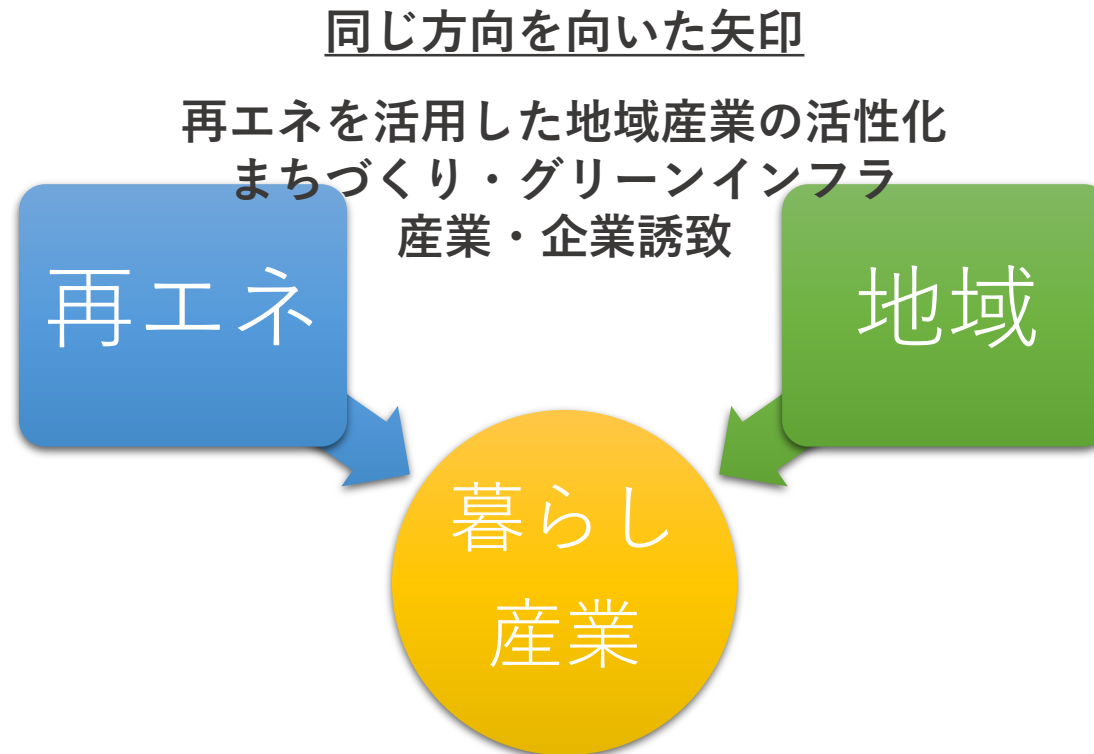
- 開発
- PPA
- コンサルティング
- 環境価値取引
- エネルギーマネジメントシステム



これまで

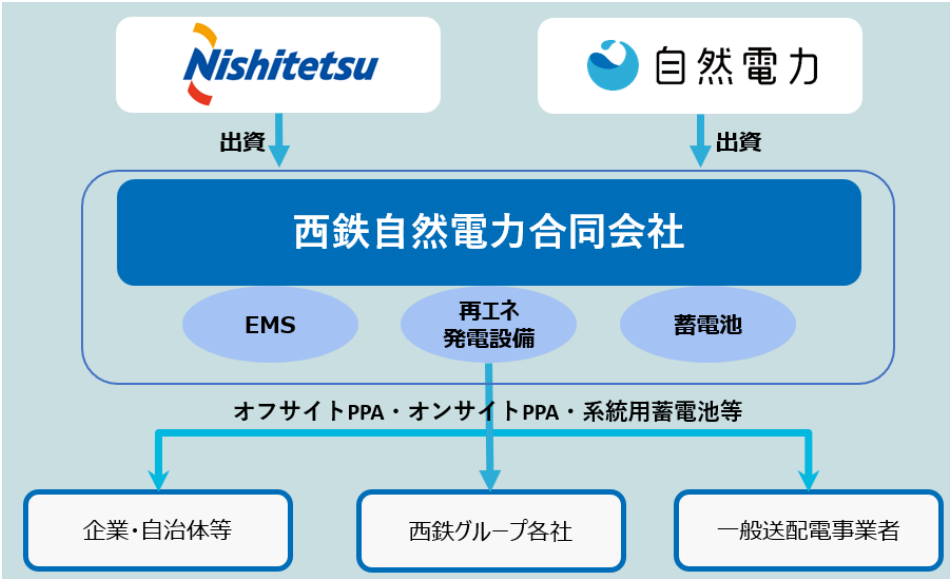


これから





西鉄自然電力は、
運輸業を中心にまちづくりに取り組む西日本鉄道と、
国内外で自然エネルギー電源を開発する自然電力が
タッグを組み設立した
脱炭素化と地域創生を目指す会社です。



商 号	西鉄自然電力合同会社
所 在 地	福岡市博多区博多駅前三丁目5番7号
代表社員	代表社員 西日本鉄道株式会社 職務執行者 菅光輝
出 資 者	西日本鉄道株式会社 50% 自然電力株式会社 50%
資 本 金	10百万円（設立時）
設 立 日	2022年4月15日
事業内容	①自然エネルギー等による発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売等に関する業務 ②発電設備、蓄電池等によるエネルギーマネジメント事業 ③①、②に付帯関連する一切の業務

再エネの活用

オンサイトPPA



屋根上太陽光発電

オフサイトPPA



野立て太陽光発電



ソーラーカーポート

非化石証書の活用

自社で発電する再エネ電気で賄えない部分についても脱炭素化を進めることが可能

エネルギー マネジメント



蓄電池やエネルギー
マネジメントシステムにより、
発電したエネルギー利用や
EV充電を最適化

EV車両の導入

EVバス



EV物流車



EV充電インフラ整備



EV充電器



西鉄自然電力の強みである、エネルギー×モビリティの各種ソリューションで、電力需要家様におけるCO₂排出量削減に向けた取り組みをサポートします。

2025.05.20

2025.6.15(日)開催「地域脱炭素フォーラム2025 in福岡」に佐々木代表がパネリストとして登壇します



熊本の自然とともに、持続可能な「みらい」をつくる

For Kumamoto For the future



- 環境省が選定する脱炭素先行地域に、熊本県、益城町、西鉄自然、肥後銀行、熊本銀行とで提案した「阿蘇くまもと空港周辺地域RE100産業エリアの創造」が選定
- 「熊本では再エネ100%を目指した企業活動が可能」という、次の時代を見据えた環境づくり
- エリア内の再エネ電力を集約。先行地域指定された空港周辺を中心に再エネ供給エリアを広げ、産業誘致につなげる。地域脱炭素化と地域経済の活性化の実現を目指した取り組み

